

第139回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成26年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成26年6月30日～平成26年9月28日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は291件（前回報告276件、前年同時期261件）
そのうち男性279件、女性12件で、男性は前回（263件）及び前年同時期（251件）より増加、女性は前回（13件）より減少、前年同時期（10件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は119件（前回報告120件、前年同時期108件）
そのうち男性112件、女性7件で、男性は前回（116件）より減少、前年同時期（102件）より増加、女性は前回（4件）及び前年同時期（6件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は410件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが213件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが43件（全HIV感染者報告数の約15%）
そのうち男性33件、女性10件
 - 静注薬物によるものは3件（うち、その他に計上されているものが1件）
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが78件（全AIDS患者報告数の約66%）
 - 異性間性的接触によるものが27件（全AIDS患者報告数の約23%）
そのうち男性25件、女性2件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成26年6月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は26,212件
（前回報告速報値29,106件、前年同時期確定値24,533件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,786件
（前回報告速報値8,691件、前年同時期確定値7,310件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は36,516件
（前回報告速報値38,854件、前年同時期確定値34,340件）

【献血の概況（平成26年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は、3,759,951件（前年同時期速報値3,908,307件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は50件（前年同時期速報値55件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.330件（前年同時期速報値1.407件）

《まとめ》

1. 前回に比し、新規HIV感染者報告数は増加した。また、新規AIDS患者報告数はほぼ横ばいであったが、同性間性的接触によるものは増加した。
2. 新規HIV感染者は20～30代、新規AIDS患者は30～40代で報告数が多いが、いずれも10～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、HIVに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名HIV抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。
4. 12月1日は世界エイズデーである。HIV・エイズの流行も、その流行に影響を受けている人達の闘いも、まだ終わっていないという想いから、本年度は「AIDS IS NOT OVER～まだ終わっていない～」がテーマとして策定された。エイズデーをきっかけに、一人一人が出来ることについて考えて頂きたい。